

京たngo梨ブランド率を向上させる フローチャートマニュアルの開発 (農林センター 丹後農業研究所)

「京たngo梨」糖度不足の主要因は地下30~50cmの土壤気相率が低いことです。このような園では新梢伸長等の樹相も乱れています。総合的に改善するためのフローチャートマニュアルを開発しました。

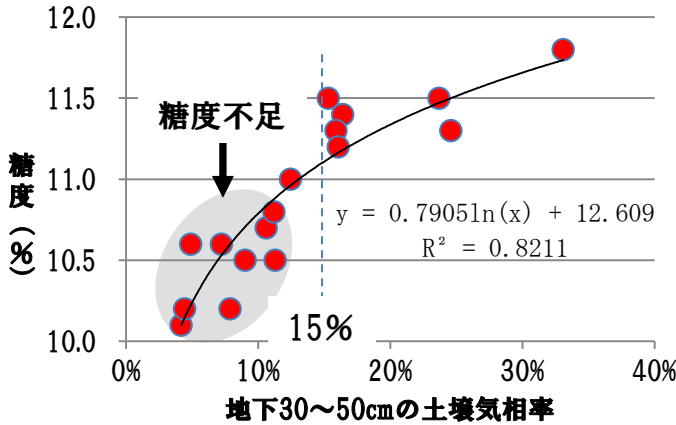


図1 果実糖度と土壤気相率の関係
地下30~50cmの土壤気相率が15%以下の園で糖度不足が発生

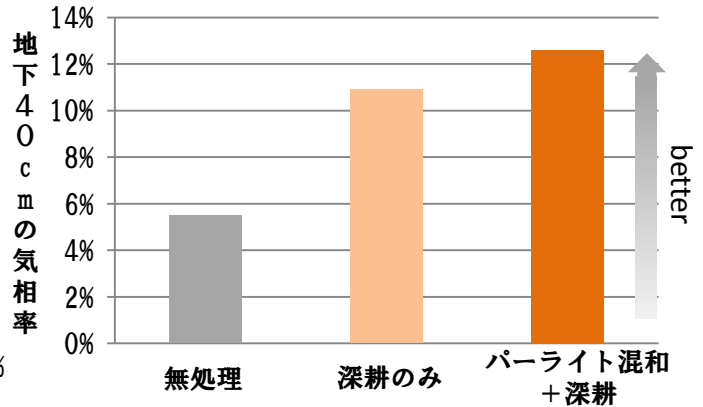


図2 地下50cmまでの土壤処理が5ヶ月後の土壤気相率に及ぼす影響
深耕により気相率が改善する。パーライトを混和することで、その効果は大きくなる。



適切に管理された理想的な「京たngo梨」ほ場



樹相の乱れにより発生した新梢の二次伸長



トレンチャーによる土壤深耕

- 気相率の改善には秋季の地下50cmの深さまでの土壤深耕が有効
パーライトを混和するとさらに効果的
- 側枝1m当たりの果台を12個以上確保すると、葉果比と樹相が改善
- 受光態勢改善のため、側枝間隔は40cm以上に

- 果樹園を栽培状況を見直すマニュアルを作成しました。
フローチャートになっているので、効率的に改善が可能です。
- 成園の土壤改良は一気に行うと悪影響があります。
最低でも5年以上かけて計画的に実施してください。